

明石焼

明石焼は、江戸時代の中頃に明石で焼かれ始めた施釉陶器の総称で、朝霧焼や舞子焼、ほのぼの焼などが含まれます。花入れや茶器などの観賞用から、どんぶり鉢や湯呑み茶碗などの日用雑器まで幅広い器種が作られ、土産物や海外への輸出品としても有名でした。

明石玉

明石玉は、幕末の明石で発明されたといわれている人工のサンゴ玉です。卵の卵白を固めて色をつけたものが始まりで、かんざしなどの飾りに使われ、様々な製法が研究されながら、大正時代頃まで明石ならではの地場産業として栄えていました。



明石玉の数珠

明石玉のかんざし

竹中氏旧蔵コレクション展

明石市在住の竹中敏幸氏が個人で集められた貴重なコレクションの数々。今回は2025年に市に寄贈された明石玉、明石焼、蛸壺を中心に展示します。



明石焼陶器



ほのぼの焼皿



舞子焼皿

全国有数のタコの漁場である明石では、古代からイイダコ壺や真蛸壺を使ったタコ漁が行われており、近年まで伝統的な蛸壺を使った漁が続けられていました。

蛸壺

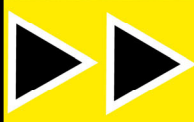


古代のイイダコ壺

真蛸壺

蛸の装飾と銘文のある真蛸壺を模した花瓶

2026. 7. 25 (土)



8. 30 (日)



蛸を模した看板

観覧無料

■開館時間／9時～17時 *月曜休館

■駐車場5台(うち車椅子対応1台)(土日・祝日も開館)

■JR魚住駅から徒歩25分 ■山陽電鉄東二見駅から徒歩20分

■たこバス山川北停留所から徒歩5分

■電話／078-918-5629 ■FAX／078-918-5633

■明石市民生活局文化・スポーツ室歴史文化財担当



たこバス時刻表

魚住文化財収蔵庫

明石市魚住町西岡2119番地の23



詳細地図

